

《一般審査員募集 Q&A》

■各会場何人の審査員を募集している？

募集人数は非公開です。各審査の人数バランスを見て、事務局が決定します。

■一般的な音楽コンクールとの違いは？

一般的な音楽コンクールは楽器の独奏や弦楽四重奏などといったクラシック音楽の特定の編成を対象とすることが多いのに対し、**大阪国際室内楽フェスタの参加団体は、2人から6人のアンサンブルであれば楽器の組合せは自由！**クラシックに限らず、世界各国の民族音楽や伝統音楽も対象にしています（ただし電気によって音量を増幅する楽器は対象外です）。年齢制限もありません。

音楽コンクールではプロの音楽家が審査員を務めて結果を決めますが、大阪国際室内楽フェスタでは音楽を愛する一般の審査員による投票で金賞受賞団体を決めます。聴衆の心に響く表現や音楽を軸とする、「音楽祭」としての性格を強く反映した審査制度です。

■一般審査員に参加したらどんな音楽を聴けるの？

まだ発表していません。2026年3月下旬に各団体のプロフィールを紹介します。どうぞお楽しみに。

クラシックから民族音楽まで幅広いジャンルの世界中の団体から応募があり、予備審査を通過した16団体がフェスタに登場する予定です。

ちなみに2023年に開催した前回のフェスタでは、モンゴル楽器五重奏（モンゴル）、フルート・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ハープ五重奏（フランス）、バヤン・ダルシマーのデュオ（アメリカ）、オーボエ・クラリネット・バスクラリネット・ソプラノサクソフォーン・ファゴット五重奏（日本）、アコーディオン四重奏（フランス）などの団体が出場し、「モンゴル伝統楽団テンゲル・アヤルグー」が金賞を獲得しました。

■音楽を聴くのは好きですが、知識はありません。審査と言われると気後れしてしまいます

音楽が好きなら大歓迎です。**知識がなくても全く問題ありません。**音楽的・技術的な卓越性を比べるというよりも、一般審査員の方が「この団体の演奏をもう一度聴きたい！」と思った団体に票を入れていただければと思います。票を入れた理由をお尋ねするということはありませんので、言葉で説明できなくても大丈夫です。

■「大阪国際室内楽フェスタ」なのに、なぜ1次ラウンドは三重と富山で行われるのですか？

大阪から世界へ発信する素晴らしい音楽を、より広い地域の方にお楽しみいただくためです。

大阪以外にお住まいの方にも、世界トップレベルの多様なアンサンブルの演奏を身近なホールで楽しむ機会を提供することで、大阪国際室内楽フェスタや音楽団体について知っていただき、応援していただきたいという思いを込めています。富山県高岡文化ホール・三重県文化会館はいずれも音響効果の良いホールとして知られ、様々な編成の音楽をお楽しみいただくのにぴったりの場所です。